

デイリー・ジーザス・ニュース #244

受難週：日曜日...歓呼と賛美の日

エルサレムに対するイエスの二度目の嘆き

ルカ19. 41-44

41 イエスはエルサレムに近づき、その町を見て、その町のために泣き、 42 こう言われた。

「もしあなたが今日、あなたに本当の平和をもたらすものを知っていたなら、しかし、それらは今あなたの目から隠されています。

43 敵があなたに対して堤防を築き、あなたを取り囲み、四方からあなたに対して圧迫する日があなたに向かって来るであろう。 44 彼らはあなたたちを、そしてあなたの城壁の内側にいる子供たちを、地面に叩きつけるでしょう。彼らは石を一つも残さないでしょう。なぜなら、あなたたちは神が（私を通して）あなたたちを訪ねるために来られた完璧なタイミングを認識しなかったからです。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	エルサレムの城門のすぐ外にあるオリーブ山にて
タイムライン	4月上旬 (39ヶ月目)
イエスの生涯の文脈	第8段階：受難週
	A. 日曜日：歓呼と賛美の日
タイトル	エルサレムに対するイエスの二度目の嘆き

コメント：

今日の短い朗読の中で、イエスの愛と恵みが輝いています。ここにイエスの栄光を見出し、イエスを崇拝しましょう。

これは、ルカによる福音書の中で、イエスが、国民の中心であるエルサレムがメシアとしての救いを拒否し、その結果として将来完全な滅びを経験することに対する深い悲しみを表明した3回のうちの2回目です。異邦人であったルカが、エルサレムに対するイエスの胸を引き裂くような悲しみを拾い上げ、福音書に記録したのは興味深いことです (ルカ13:33-35、19:41-44、23:27-31)。ここには、私たちの主について非常に特別な何かが明らかにされています。

その時の光景を思い出してください。大勢の群衆が、イエスのメシアとしてのエルサレム到着を喜び祝っていました。彼らはちょうどオリーブ山を下りているところで、そこからは目の前に街の素晴らしい景色が広

デイリー・ジーザス・ニュース #244

がっていました。神殿の金色の屋根に太陽の光が反射し、まばゆいばかりの青空が広がっていました。男も女も子供たちも、上着やヤシの枝を子口バの足元に投げつけ、賛美の叫びを上げ、喜びの踊りを踊っていました。

この熱狂的な騒ぎの真只中で、イエス様を見てください。

イエスは人々の称賛にも、その瞬間にも、心を奪われてはいません。称賛を浴びて、その全てを吸収し、誇らしげに輝いているわけでもありません。周囲に溢れるこの賛美の時間に、イエスは愛する人々の運命を深く悲しみ、苦い涙をこらえることができません。イエスは、ご自分の首に賞金をかけ、偽りの告発、嘲笑、辱め、拷問、そしてついには殺害しようとしている敵を愛しておられます。イエスは、生涯で最も大きな称賛を浴びながら、彼らのために心を痛み、祈っておられます。

このような場面はイエスの心を私たちに示しています。イエスは言葉では言い表せないほど美しく、その愛こそがイエスの栄光です。

応用：

愛は、たとえそうする権利が十分にある時でさえ、決して利己的ではありません。イエスはまさにその模範です。愛は常に、愛する人々の必要や充足に焦点を当てています。無条件に、絶え間なく。

人間の賞賛はどのようにして、他人を本当に愛することからあなたを遠ざけてきましたか？

あなたはどのような点で利己的な誘惑に駆られますか。その場合、どのようにイエスに従いますか。